

『きつき市議会だより』第73号の記事の誤りについて（お詫び）

平素から『きつき市議会だより』をご覧いただき、ありがとうございます。

令和6年8月15日に区長便で配布しました『きつき市議会だより』第73号につきまして、岩尾育郎議員の一般質問の記事が誤って第72号（令和6年5月15日発行）と同一の内容になっておりました。

誠に申し訳ございませんでした。お詫びいたしまして下記のとおり訂正させていただきます。今後は再発防止に努めて参ります。

なお、訂正分は令和6年11月15日配布予定の『きつき市議会だより』第74号に改めて掲載する予定ですが、取り急ぎお知らせいたします。また、杵築市ウェブサイトにて訂正版をご覧いただけます。

記



岩尾育郎議員
いわお いくろ

自治協の支障木撤去事業について

議員 現在、多くの自治協が、地域内の市道の支障木の撤去事業に取り組んでいるが、この事業を拡大し、地域内のあらゆる環境を整備することに対応できるような事業として構築できないか。自治協にもつと予算と権限を与え、自治協が必要と認めれば、場所や対象を限定せずに取り組めるような事業にしたい。

協働のまちづくり課長 人口減少や高齢化が進み、各地域ごとに温度差もあるので、地域の声を受けなければならぬ。各自治協の代表者や、役員の方々と一緒に考えていきたい。

八坂川へのアユの放流事業について

議員 「八坂川にアユを蘇らす会」のアユの放流事業が今年で終了とのことだが、引き続き市の事業として継続することはできないか。

農林水産課長 八坂川は内水面漁協がないので、種苗の放流というだけでは難しいと思うが、子どもの環境教育とか、あるいは地域づくりとか、そのような関連でできないか内部で協議したい。

議員 子どもの河川の環境教育の一環として、小学校の授業のなかで取り組むことは可能か。

学校教育課長 総合的な学習の時間のカリキュラムを組みながら、計画的に行っており、組み入れについては学校と協議していきたい。

甲尾山の階段脇の木の伐開について

議員 甲尾山の階段脇の木が繁茂し、かなりうっとうしくなっている。下から上まで全体の伐開となると難しいかと思うが、せめて下から50メートルほどを整備できないか。

建設課長 階段上り口の桜の木を含め、周辺の竹林等の地権者と相談し、検討したい。

